

国際共同研究開発プログラム
「Towards a Sustainable Earth (TaSE) (持続可能な地球を目指した研究)」
人間と環境の相互関係と持続可能な開発目標について

国立研究開発法人 科学技術振興機構

2018年6月

※この文書は Towards a Sustainable Earth (TaSE)の公募概要を説明した資料であり、応募する際には、必ず Towards a Sustainable Earth 公募ページ (英文) を参照して下さい。内容に相違ある場合は、Towards a Sustainable Earth 公募ページの記載内容を優先します。

1. 本公募の趣旨：

2015年9月に国際連合総会において、17の持続可能な開発目標 (SDGs) が新たに決定しました。この開発目標には、169の関連課題を内包しており、貧困と飢餓の撲滅、不平等の解消、健康と福利の向上が含まれる一方で、人々の生活を支える資源の保持が求められています。SDGsは、地球上で人類が持続可能な発展を実現するために必要な目標を掲げており、持続可能な地球環境がSDGsの達成を支えることとなります。地球と人類の繁栄は、持続可能な地球環境と密接な繋がりがあり、持続可能な地球環境を実現するには、人間社会と地球環境の相互関係を理解し、地球上の資源をいかに利用して管理を行うか、短期的な視点のみならず将来的な必要性も考慮して検討を進める必要があります。

本プログラムでは、科学的な研究開発が上記の取り組みに貢献するとの考えの基に開始されました。本プログラムでは、SDGsを背景に、アース・システムと人間社会の複雑な相互関係について理解を深める研究を行うと同時に、それに係わる現在及び将来的な課題についても探求することを研究の核としています。本プログラムの研究開発の成果は、地球と人間社会の持続可能な発展に向けて、新たな道筋を示すことを期待します。

なおSDGsは、経済、社会、環境の3つの分野を統合しています。各目標が相互に関連し合うため、1つの目標の達成が他の目標の達成に影響を及ぼすことが予想されます。SDGsの異なる目標間の関係性、シナジー効果、対立、矛盾等について理解を深めることが、SDGs達成には重要な役割を果たすと考えられます。

2. 公募の目的とテーマ

目的：本プログラムでは、持続可能な地球の実現を目指して自然環境と人間社会の相互の関係や作用について理解を深め、その成果を持続可能な開発目標の達成に繋げていく研究プロジェクトを支援します。そのため研究プロジェクトは、SDGsの2つ以上の目標を総合的に解決する際に環境と人間の相互作用に関する最も切迫した課題を特定し、実証することが求められます。

テーマ： 本公募では、以下の2つのテーマを統合して取り組む必要があります。

本公募の2つのテーマ：

テーマ1：自然環境と人間社会の相互の働きと関係について、社会、経済、文化、自然の各仕組みをローカル／グローバルの両方の視点で理解すること：限界、脆弱性、閾値、およびそれらを超えた場合の人類への潜在的な影響。

テーマ2：テーマ1の課題を解決し、持続可能な開発をもたらすための政策と実践的な介入およびそのための実証的な研究。

補 足

- ・テーマ1は、持続可能な発展とSDGsの達成に向けて、自然と社会の相互作用の探究を行う。具体的には、自然環境、生物多様性、生態系の役割と作用の解明が必要であり、この中には、人類と環境との関係に本来備わる脆弱性、転換点および臨界閾値が含まれる。
- ・テーマ2は、革新的な政策や社会実装を生み出すために、従来および新たな研究を分野横断的に組み合わせることも含めて活用すること。

3. 公募期間：

応募書類 一次提出：平成30年6月14日～平成30年7月31日16:00締切

二次提出： ～平成30年8月14日16:00締切

※上記は共に（英国夏時間）

※一次提出では提案書の概要を提出し、二次提出では提案書の詳細を記載した全提案書を提出する。

4. 公募する提案の支援期間と予算：

研究プロジェクトとして、以下のような規模を想定しています。

支援期間： 2年

1プロジェクトあたりの全体予算： 最大70万ポンドまで。

（日本円でおおよそ1億5百万円 / 1ポンド=150円換算）

また、本公募にかかる日本の1プロジェクトあたりの1年間の予算額の上限は、おおよそ3万2千5百ポンドとし、1プロジェクトあたりの2年間の想定予算規模は、6万5千ポンドとします。（但し、採択プロジェクト全体では2年間で13万ポンドを上限とします。）この金額は、採択された1プロジェクトに参加している日本からの研究者全員への支援想定額です（1研究者当たりの金額ではありません。また直接経費の10%を上限とした間接経費を含んだ金額です。）なお、支援想定額については、具体的な研究内容や採択数などにより変動することが

あります。また、毎年の支援金額は毎年の予算規模によっても変動することがあります。

5. 本公募の参加国と参加機関：

英国： UK Research and Innovation's Natural Environment Research Council(NERC)
Economic and Social Research Council (ESRC)
Arts and Humanities Research Council (AHRC)
スウェーデン： The Swedish Research Council (FORMAS)
日本： Japan Science and Technology Agency (JST)
中国： National Natural Science Foundation of China (NSFC)
インド： Department of Biotechnology, India (DBT)

(平成 30 年 6 月現在)

6. 提案条件：

- (ア) 先進国と発展途上国の両方を視野に入れた世界的な視点。
- (イ) 2つ以上の SDG s の相互関係を考慮した達成可能な目標の設定。
- (ウ) 自然環境と人間社会の関わりについて理解を深める統合的なアプローチ。
- (エ) 多様な関与者と Co-Design、Co-Production を実施。
- (オ) 最低 3ヶ国以上の出資国の研究者を含み、多国籍の研究体制。

7. 応募資格：

(ア) コンソーシアムの構成条件

「5.本公募の参加国」に記載されている国から、3ヶ国以上が参加する提案であること。
(各国における応募条件については、Appendix1 を参照)。

チームを構成しているそれぞれの国の資格要件を満たさない場合 (not eligible となる場合)、そのチームを除いて上記条件を満たさなくなった場合には、その時点で失格となり審査がなされなくなります。たとえば、A 国、B 国、C 国の 3ヶ国構成のチームで B 国の要件を B 国チームが満たせないと A 国、C 国の 2ヶ国チームとなってしまうため、このプロジェクトは失格となってしまいます。研究代表者は、そのようなことがないように他国の研究チームの応募資格にも注意する必要があります)

(イ) コンソーシアムの構成要素

1) コンソーシアムの研究代表者

コンソーシアムの代表として全体の研究提案を取りまとめ、本公募の国際事務局に応募する。

2) 日本側研究代表者

日本側の代表として、日本側研究チームの研究提案を取りまとめ、JST への応募手続、または採択された場合の取りまとめの窓口になる。

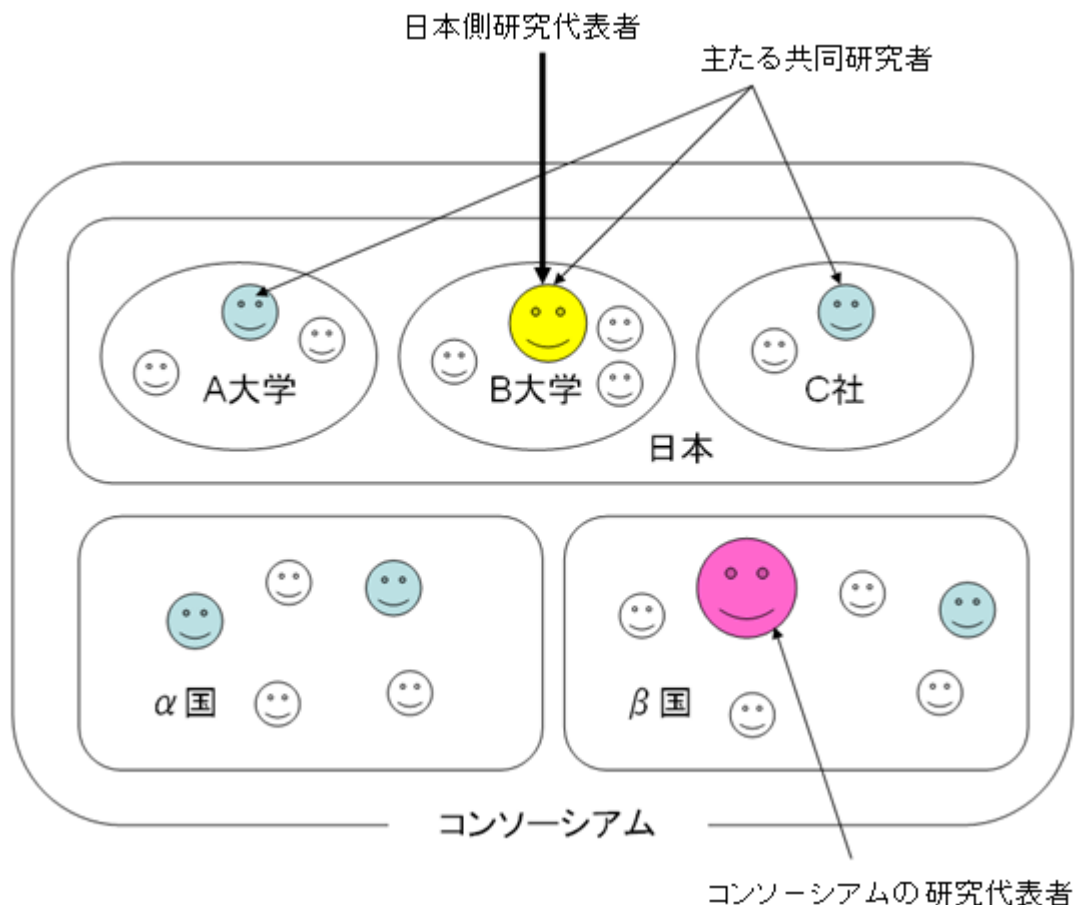
3) 主たる共同研究者

一定の役割を担って研究に参加する。

コンソーシアムに参加する日本側研究チームは、研究グループごとに（原則として、所属研究機関ごとに）「主たる共同研究者」を設定し、さらに主たる共同研究者の中から「日本側研究代表者」を1名設定いただきます。

※なお、日本側の研究チームは複数の研究グループにより構成する必要はありません。

1 研究グループでも構いません。



(ウ) 研究代表者の条件

本公募に申請する研究代表者は、研究倫理に関する教育プログラムを受講していることが応募要件となります。受講済みであることが確認できない場合は、要件不備とみなしますのでご注意ください。

研究倫理に関する教育プログラムの受講と受講済み申告の手続きは以下の i) ~iii) のいずれかにより行ってください。

- i) 所属機関で実施している研究倫理に関する教育プログラムを申請時点で受講済みである場合は、e-Rad の応募情報入力画面で受講済みであることを申告してください。
- ii) 所属機関等において CITI Japan e-ラーニングプログラムを申請時点で受講済みである場合は、e-Rad の応募情報入力画面で申告する際に、併せて CITI Japan e-ラーニング

プログラムの修了証に記載された修了証番号（修了年月日の右隣にある Ref #）を申告してください。

iii) 所属機関において研究倫理に関する教育プログラムが実施されていないなど、所属機関で研究倫理に関する教育プログラムを受講することが相当困難な場合は、JST を通じて CITI Japan e-ラーニングプログラムを受講することができます。

受講を希望する場合は、e-Rad の応募情報入力画面でその旨を申告するとともに、JST 総務部研究倫理室まで受講をお申し込みください（詳細は別紙参照）。

受講登録後速やかに受講を済ませ、CITI Japan e-ラーニングプログラムの修了証に記載されている修了証番号（修了年月日の右隣にある Ref #）を e-Rad 応募締め切り（一次提出締め切り後 3 日以内）までに公募担当者まで申告してください（詳細は別紙参照）。

(エ) 日本側の主たる共同研究者は下記の要件を満たすことが必要です：

- ・国内の研究機関に所属して研究を実施できること。
- ・不適正経理に係る申請資格の制限等を有していない研究者であること。

(オ) 参加しているその国の支援機関が適切な仕組みを持っているれば、民間企業の参加は、提案参加者としてあるいは、共同支援機関として参加が可能です。

8. 審査基準およびスケジュール：

(ア) 審査基準

- ・研究内容のクオリティと知的メリット
- ・プログラム目的との合致性と研究テーマとの整合性
- ・見込まれる効果・影響

(イ) 審査スケジュール

審査スケジュールは現時点では以下の通りとなっております。

平成 30 年 6 月中旬～7 月末	提案書概要の提出
～8 月 14 日	本提案書の提出
8 月 14 日～11 月	本提案書の審査
12 月	最終結果の公表
平成 31 年 1 月	プロジェクト開始予定

9. 本件に関するお問合せ先

国立研究開発法人 科学技術振興機構

国際部 事業実施グループ 久保田、エンゲ

TEL : 03-5214-7375 FAX : 03-5214-7379

E-mail: belmont@jst.go.jp

以上